アイテック 教育フォーラム
2017年春期（平成29年春期）

情報処理技術者試験 分析と講評

1. 平成29年春期試験のトピックス
2. 春期試験全体の分析
3. 各試験別の出題内容分析
4. 平成29年秋期試験の対策

2017年5月18日
（株）アイテック　IT人材教育研究部　石川英樹

iTEC
人間力を、企業力に

1. 平成29年春期試験のトピックス

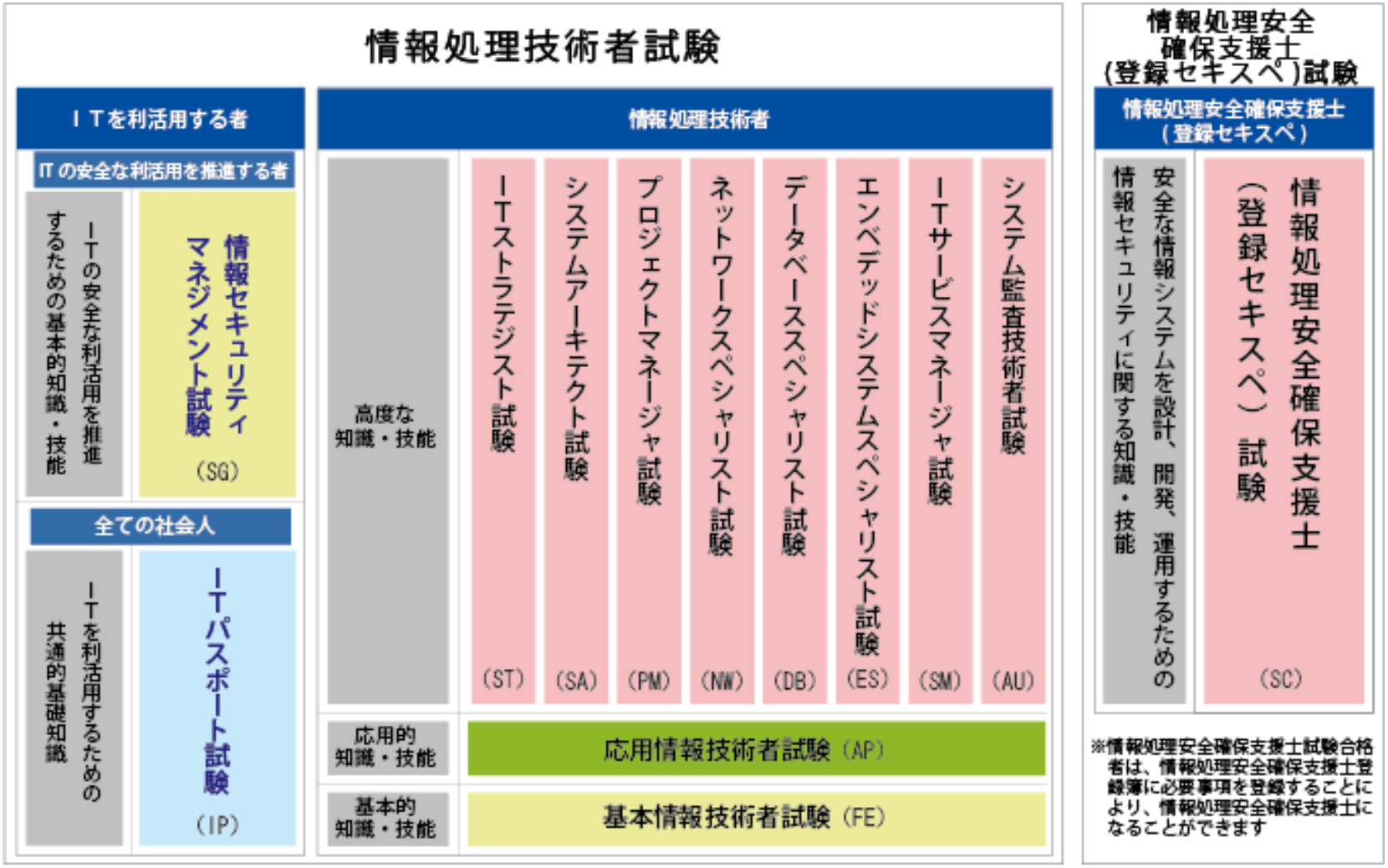
- 応募者は約20.8万人（前年同期は20.1万人） 増加
  - SCとSG以外，試験応募者がそれぞれ1割程度増（DBは26.7%の大幅増）
  - 情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験の初回応募者数 減少
    - H29春＝25,130人 （H28秋＝32,492人，H28春＝26,864人）
    - 初回試験として敬遠された？ SC合格と支援士登録の関係が未浸透？
- 今春試験の注目点
  - 午前試験問題冒頭の規格・標準がなくなり，個々の問題での表記になった
  - 午後試験で出題された新しい事例・珍しい事例
    - スマートウォッチ（組込みシステム開発の問題；AP午後問7）
    - アジャイル型開発（情報システム開発の問題；AP午後問8）
    - 製造実行システム（MES；Manufacturing Execution System；PM午後Ⅰ問1）
- SG，FE合格発表（5/17）

FE前年同期 30.4%

	合格率	応募者，	受験者，	合格者数
情報セキュリティマネジメント試験（SG）	66.4 %	21,162	17,045	11,324
基本情報技術者試験（FE）	22.5 %	67,784	48,875	10,975

Copyright by ITEC, Inc. 2017

情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験の体系



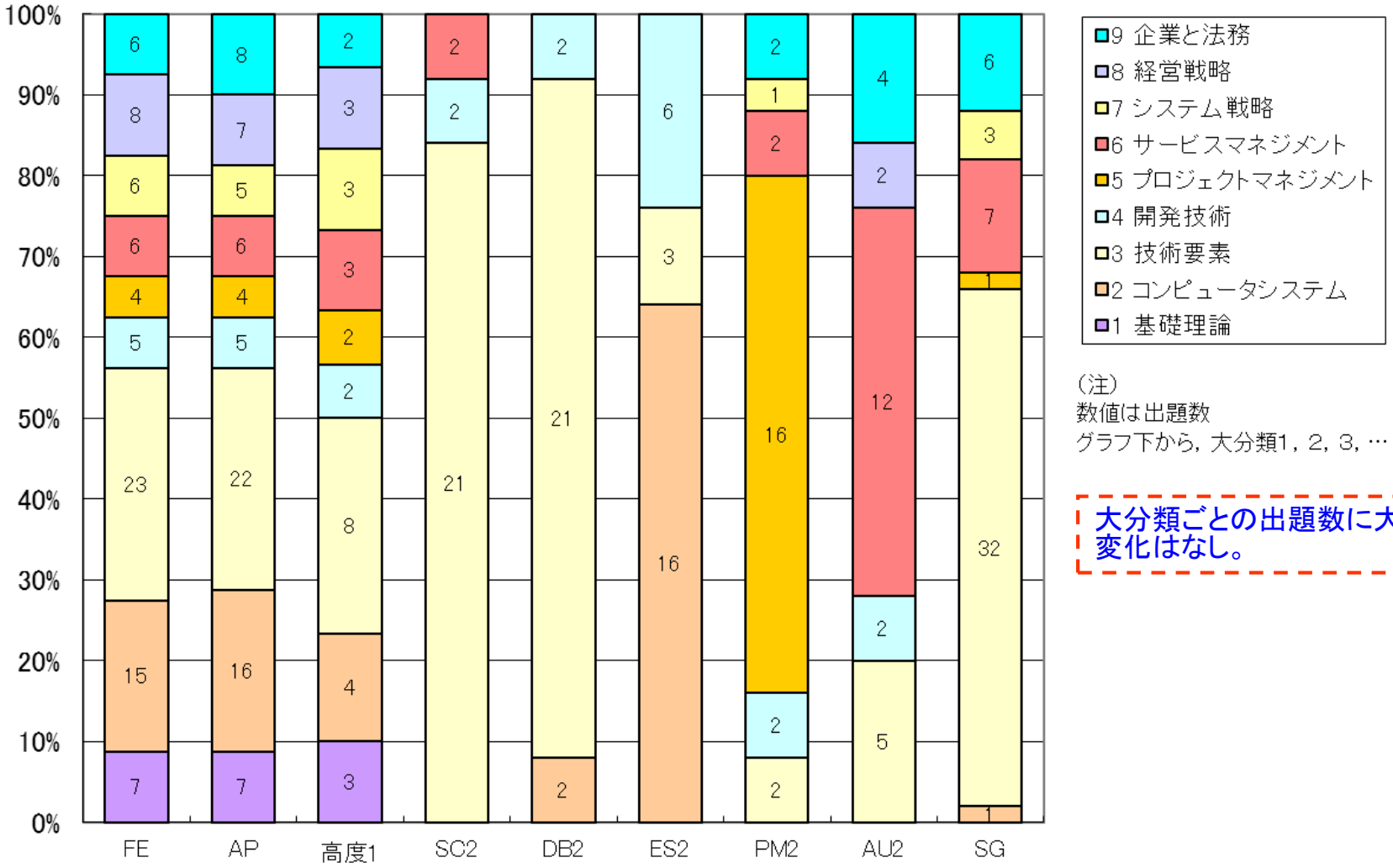
Copyright by ITEC, Inc. 2017

■午前試験の出題範囲

試験区分 / 出題分野					ITパスポート試験	情報セキュリティマネジメント試	基本情報技術者試験	応用情報技術者試験	高度試験									
									午前Ⅰ（共通知識）	午前Ⅱ（専門知識）								
共通キャリア・スキルフレームワーク					IP	SG	FE	AP		ITストラテジスト試験 ST	システムアーキテクト試験 SA	プロジェクトマネージャ試験 PM	ネットワークスペシャリスト試験 NW	データベーススペシャリスト試験 DB	エンベデッドシステムスペシャリスト試験 ES	ITサービスマネージャ試験 SM	システム監査技術者試験 AU	情報処理安全確保支援士試験 SC
分野	大分類		中分類															
テクノロジ系	1	基礎理論	1	基礎理論														
			2	アルゴリズムとプログラミング														
	2	コンピュータシステム	3	コンピュータ構成要素							○3		○3	○3	◎4	○3		
			4	システム構成要素		○2					○3		○3	○3	○3	○3		
			5	ソフトウェア											◎4			
			6	ハードウェア											◎4			
	3	技術要素	7	ヒューマンインタフェース														
			8	マルチメディア														
			9	データベース		○2					○3			◎4		○3	○3	○3
			10	ネットワーク		○2					○3		◎4		○3	○3	○3	◎4
			11	セキュリティ		◎2				○3	○3	○3	◎4	○3	○3	○3	○3	◎4
	4	開発技術	12	システム開発技術	○1		○2	○3	○3		◎4	○3	○3	○3	◎4		○3	○3
			13	ソフトウェア開発管理技術							○3	○3	○3	○3	○3			○3
マネジメント系	5	プロジェクトマネジメント	14	プロジェクトマネジメント		○2						◎4				◎4		
	6	サービスマネジメント	15	サービスマネジメント		○2						○3				◎4	○3	○3
			16	システム監査		○2										○3	◎4	○3
ストラテジ系	7	システム戦略	17	システム戦略		○2				◎4	○3							
			18	システム企画		○2				◎4	◎4	○3						
	8	経営戦略	19	経営戦略マネジメント						◎4							○3	
			20	技術戦略マネジメント						○3								
			21	ビジネスインダストリ						◎4								
	9	企業と法務	22	企業活動		○2				◎4							○3	
			23	法務		◎2				○3		○3				○3	◎4	

Copyright by ITEC, Inc. 2017

2. 春期試験全体の分析
(1)午前問題の大分類別出題比率



(注)
数値は出題数
グラフ下から，大分類1，2，3，…

大分類ごとの出題数に大きな変化はなし。

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(2)午前問題の中分類別出題比率

29春	中分類																							
試験区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	総計
FE	3	4	3	4	5	3	1	1	5	6	10	4	1	4	3	3	4	2	4		4	4	2	80
AP	4	3	4	4	4	4	1	1	5	5	10	3	2	4	3	3	2	3	4		3	5	3	80
高度共通	2	1	1	1	1	1			2	2	4	1	1	2	2	1	1	2	2		1	1	1	30
SC(午前Ⅱ)									1	2	18	1	1		1	1								25
DB(午前Ⅱ)			1	1					19		2	1	1											25
ES(午前Ⅱ)			5	1	4	6				1	2	5	1											25
PM(午前Ⅱ)											2		2	16	2			1					2	25
AU(午前Ⅱ)									1	1	3	2			2	10			2			1	3	25
SG				1					1	1	30			1	3	4	2	1				1	5	50
総計	9	8	14	12	14	14	2	2	34	18	81	17	9	27	16	22	9	9	12	0	8	12	16	365

中分類no	中分類
1	基礎理論
2	アルゴリズムとプログラミング
3	コンピュータ構成要素
4	システム構成要素
5	ソフトウェア
6	ハードウェア
7	ヒューマンインタフェース
8	マルチメディア
9	データベース
10	ネットワーク
11	セキュリティ
12	システム開発技術
13	ソフトウェア開発管理技術

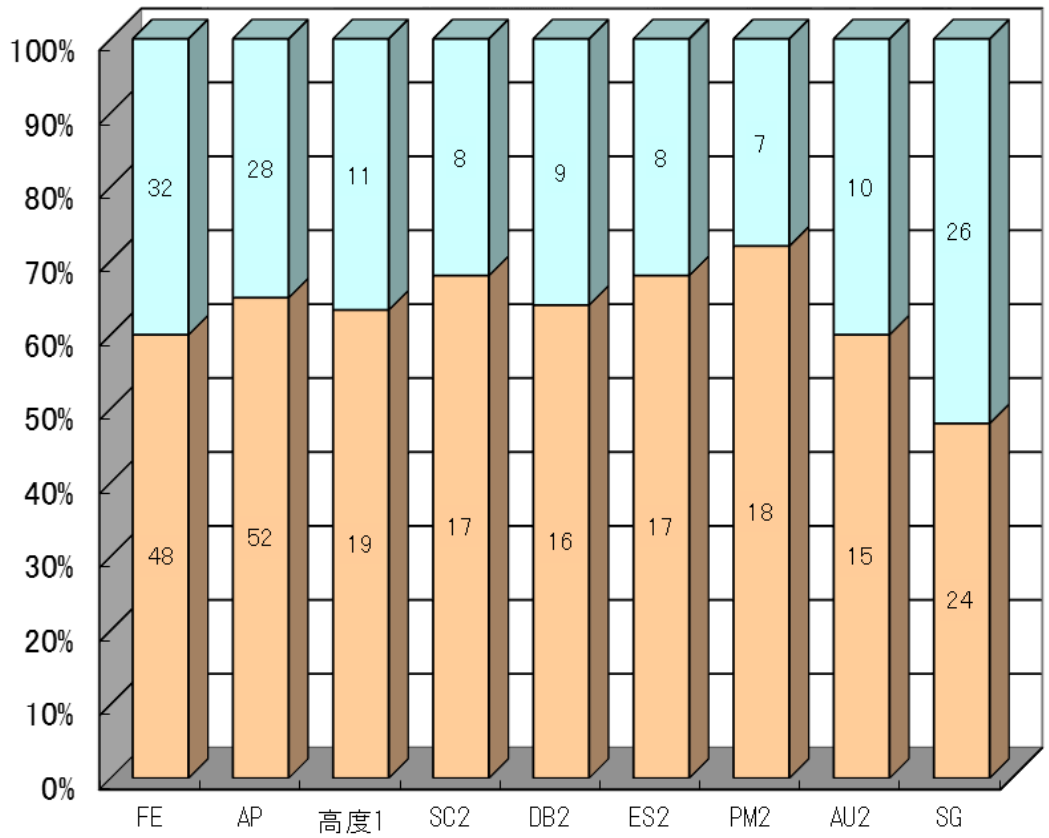
中分類no	中分類
14	プロジェクトマネジメント
15	サービスマネジメント
16	システム監査
17	システム戦略
18	システム企画
19	経営戦略マネジメント
20	技術戦略マネジメント
21	ビジネスインダストリ
22	企業活動
23	法務

・SGのセキュリティは過去2回と同様に，6割(30問)出題された

・高度午前Ⅱ
重点出題分野の問題数が
試験でまちまち。
(スライド4の出題範囲◎ 参照)

Copyright by ITEC, Inc. 2017

（3）過去問出題比率



・FEの過去問出題数
　前回（55問）よりも少ない。
・高度午前Ⅱ
　ほぼ6割が過去問からの出題。
・3回目SG，5割が過去問

Copyright by ITEC, Inc. 2017

（4）出題パターン別の出題割合（H29春試験）

iTEC 人間力を、企業力に

29春					
試験区分	計算	考察	文章	用語	総計
FE	9	17	40	14	80
AP	5	21	44	10	80
高度共通	2	8	18	2	30
SC（午前Ⅱ）		3	19	3	25
DB（午前Ⅱ）	2	11	10	2	25
ES（午前Ⅱ）	2	5	14	4	25
PM（午前Ⅱ）	3	4	17	1	25
AU（午前Ⅱ）	1	3	18	3	25
SG		2	40	8	50
総計	24	74	220	47	365

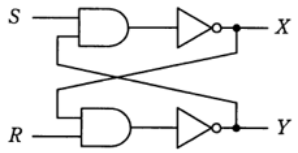
問9　（H23秋-AP 問4）　計算

サンプリング周波数40kHz，量子化ビット数16ビットでA/D変換したモノラル音声の1秒間のデータ量は，何kバイトとなるか。ここで，1kバイトは1,000バイトとする

ア 20　イ 40　ウ 80　エ 640

問24　（H23秋-AP 問24）　考察

図の論理回路において，S＝1，R＝1，X＝0，Y＝1のとき，Sを一旦0にした後，再び1に戻した。この操作を行った後のX，Yの値はどれか。



ア X＝0，Y＝0　イ X＝0，Y＝1
ウ X＝1，Y＝0　エ X＝1，Y＝1

問32　（H23春-AP 問32）　文章

トランザクションの原子性（atomicity）の説明として，適切なものはどれか。

ア データの物理的格納場所やアプリケーションプログラムの実行場所を意識することなくトランザクション処理が行える。

イ トランザクションが完了したときの状態は，処理済みか未処理のどちらかしかない。

ウ トランザクション処理においてデータベースの一貫性が保てる。

エ 複数のトランザクションを同時に処理した場合でも，個々の処理結果は正しい。

問62　（H24春-AP 問62）　用語

情報戦略の投資対効果を評価するとき，利益額を分子に，投資額を分母にして算出するものはどれか。

ア EVA　イ IRR　ウ NPV　エ ROI

- 試験によって前回試験と変化あった。
  - FE→文章が増，用語が減
  - AP→考察が大きく増（前回13問），計算大きく減（前回12問）
  - DB→考察が増
- ざっくり言うと，・・・
  - 文章問題が6割，計算が1割弱，考察・用語問題がそれぞれ1割強
  - 用語・文章問題に解答できるように基礎知識をしっかり理解し，既出の計算・考察問題を解答できる力を付ける。

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(5)難易度(レベル1～4を規定)

データの個数 / 難易度	難易度				
試験区分	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	総計
FE	5	58	17		80
AP		24	47	9	80
高度共通		12	15	3	30
SC(午前Ⅱ)		1	20	4	25
DB(午前Ⅱ)		3	13	9	25
ES(午前Ⅱ)		3	13	9	25
PM(午前Ⅱ)			17	8	25
AU(午前Ⅱ)		2	17	6	25
SG	6	34	10		50
総計	11	137	169	48	365

(試験センター発表の難易度の考え方)

レベル1:知識項目に関する意義，考え方，特徴などを知っているかを問う「基礎知識レベル」

レベル2:知識項目に関する詳細な内容，方式などについて理解しているかを問う「基本的知識レベル」

レベル3:知識項目を応用できるかどうかを問う「応用的知識レベル」

レベル4:知識項目を高度に応用できるかどうかを問う「高度知識レベル」

・難しいと思われる問題は，試験レベルを超えた難易度にしている。

・各試験でやや難問題が少し増えている(FEのレベル3　今回17問，前回13問，前々回8問)

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(6)午前の新傾向問題(主なもの)

- セキュリティ分野を中心に新傾向問題増えた(詳細は「新傾向問題ニュース」参照)
- **テクノロジ系** (下線はセキュリティ分野)
  - MLC型フラッシュメモリ:ES03, スケールアウト:FE12, CDN:AP12, バッファサイズ:FE17, 情報収集ツール:ES09, SELinux:ES10, 変形感知センサ:FE21, エネルギーハーベスティング:AP20, 論理式の評価結果:DB09, Automatic MDI/MDI-X:SC19, HTTPアクセスのエラー:SG46, OpenFlowを使ったSDN:FE35,AP34,高共11 , ブロードキャストストーム:AP35, DNSキャッシュサーバ攻撃:FE36, ダウングレード攻撃:SC02, セッションIDの固定化攻撃:SC05, DNS水責め攻撃:SC06, サイバーセキュリティ経営ガイドライン:FE39, AP39,高共14, リスクレベルの定義:SG07, カード会員データのセキュリティ強化:SG26, タイムスタンプサービス:FE41, MITB攻撃対策:SC11, フォールスネガティブ:SC13, HTTPoverTLS:AP44, VPNでの使用プロトコル:AP45, プラットフォーム開発:AP46, アーキテクチャパターン:ES22, C1カバレージ:ES24, イテレーション:AP49,高共17
- **マネジメント系**
  - トレンドチャート:FE54, PDMによる所要日数:PM10, ベロシティ:PM11, タックマンモデル:PM07, JIS Q 20000-2でのSLA作成指針:AU11
- **ストラテジ系**
  - ホスティングサービス:FE63, 既存市場・既存製品での事業拡大戦略:FE69, 浸透価格戦略:AP68,高共26, アフィリエイトプログラム:FE74, 行動ターゲティング:AP72, ファシリテータの役割:FE75

Copyright by ITEC, Inc. 2017

3. 各試験別の出題内容分析

(1)基本情報技術者試験(FE)

- 午前試験:4択80問出題(解答時間150分)
  - テクノロジ50問, マネジメント10問, ストラテジ20問の出題
  - 過去問題が6割。AP過去問が13問(前回16問)と多い
  - 用語問題が減り, 定番問題も従来と比べてやや難しい内容が増えている
    (例)問3の論理式, 問4のリスト, 問5の流れ図, 問9のライトスルー/バック方式(H15秋以来)
- 午後試験:大問形式:7問解答/13問出題(解答時間150分)
  - 問1の情報セキュリティ問題(必須)は, マネジメント寄りの内容
  - 問2のハードウェア問題はH22秋FE午後問1の改題
  - 問3のデータベース問題は, やや難の制約関連の設問が出題された
  - 問6のマネジメント分野の問題はプロジェクトマネジメント(5回連続)

(H22秋)SM→PM→PM→PM→SM→PM→PM→PM →SM →PM →PM →PM→PM→PM(H29春)

工程名は「外部設計ー内部設計ープログラム開発ー結合テストー総合テスト」という表記

  - 問8のアルゴリズム問題は最短経路問題(過去に類似問題あり)
  - 問9～問13 プログラム言語
    - 表計算の問題が分量多く, 複雑, 他は全体に解答しやすい内容

Copyright by ITEC, Inc. 2017

基本情報技術者試験　午前問題

FE過去問31問（～H22年4問，H23年4問，H24年5問，H25年5問，　H26年9問，H27年春4問）※前回H24，H26が各10問

AP過去問13問（前回は16問）　H22秋，H26秋のAPから各3問

- H26年度のFE過去問からたくさんの出題があった。次回対策としてH25～27問題を重点的に解いておく

- 基礎理論　　新傾向問題（下線付き）
  - 集合の論理式，正規化，論理式，リスト，乗算の流れ図，再帰関数，2分探索
- コンピュータシステム
  - CPUの性能，ライトバック，USB3.0，RAID1構成，スケールアウト，ベンチマークテスト，稼働率，ページング方式，印刷時間，バッファサイズ，ディレクトリの指定，FIFO，LRUのページ置換え回数，出力電圧計算，変形感知センサ，半加算器
- 技術要素
  - 顧客コード，PCM，テーブル定義，データモデル，ソートマージ結合法，分散データベースシステム，ビッグデータ，回線利用率，ゲートウェイ，NAPT，ルータの経路，アドレスクラス，OpenFlowを使ったSDN，DNSキャッシュサーバ攻撃，ディレクトリトラバーサル攻撃，ブルートフォース攻撃，サイバーセキュリティ経営ガイドライン，公開鍵暗号方式，タイムスタンプサービス，フィルタリングルール，サーバ設置方法，認証，ポートスキャナ
- 開発技術
  - 外部設計完了時の承認，インスペクション，オブジェクト指向，判定条件網羅，リファクタリング
- マネジメント系
  - アローダイアグラム，ファンクションポイント法，テスト品質，トレンドチャート，サービスの可用性，サービスの設計・移行，インシデント及びサービス要求管理，被監査部門との意見交換，ドキュメントのコントロール，システム監査の実施体制
- ストラテジ系
  - 情報化投資，品質低下リスクの対応策，ホスティングサービス，BYOD，非機能要件定義，要件定義プロセス，コアコンピタンス，ニッチャの基本戦略，事業拡大戦略，バランススコアカード，正味所要量計算，かんばん方式，CGM，アフィリエイトプログラム，ファシリテータの役割，親和図法，キャッシュフロー，減価償却費，ソフトウェアの保護範囲，営業秘密

Copyright by ITEC, Inc. 2017

基本情報技術者試験　午後問題

- 問1（必須），問2～7（4問解答），問8（必須），問9～13（1問解答）
  - 問1　ファイルの安全な受渡し（情報セキュリティ）　普通
  - 問2　温度モニタ（ハードウェア）　普通
  - 問3　住民からの問合せ回答のデータベース（データベース）　やや難
  - 問4　無線LANにおけるデータの送信（ネットワーク）　やや易
  - 問5　購買システムにおける注文書出力処理（ソフトウェア設計）　普通
  - 問6　プロジェクトの要員計画（プロジェクトマネジメント）　やや難
  - 問7　在庫補充方法の変更（システム戦略）　普通
  - 問8　最短経路の探索（データ構造及びアルゴリズム）　普通
  - 問9　マーク式試験の答案の採点（C）　普通
  - 問10　売上集計（COBOL）　普通
  - 問11　電気料金プランの比較（Java）　普通
  - 問12　多倍長演算（64ビット加算，32ビット乗算）（アセンブラ）　普通
  - 問13　宅配便の料金計算（表計算）　やや難

12点

20点

20点

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(2)応用情報技術者試験(AP)

- 午前試験:4択80問出題(解答時間150分)
  - テクノロジ50問, マネジメント10問, ストラテジ20問
  - 新傾向問題の出題数が少し増えた
    - AP過去問32問, FE過去問10問(ストラテジ系多い), 難易度は前回と同じレベル

      (セキュリティ分野は前回と同じ10問出題)
  - 高度試験の午前Ⅱ過去問題の出題は前回より増えた
    - SC試験から2問, ES試験から2問, SM試験から2問, NW,PM,AU,SA試験から各1問
- 午後試験(記述式):5問解答/11問出題(解答時間150分)
  - 解答数が5問に減った4回目試験。問1必須で問2～11から4問選択, 各20点
    - 問1の情報セキュリティ問題は技術系の内容(前回は初のマネジメント系)。
    - 問2の経営分析は経営指標の知識ないと解答できない。
    - 問3の仮想環境の構築(システムアーキテクチャ)は計算量が多い。
    - 問5のレイヤ3スイッチの故障対策は関連知識を幅広く理解している必要あり, やや難
    - 問8のアジャイル型開発はプラクティスに関する知識必要でやや難
  - 全体的には従来レベルの難易度といえる

Copyright by ITEC, Inc. 2017

応用情報技術者試験　午前問題

APとSW過去問30問（～H21年7問，H22年4問，H23年1問，H24年3問，H25年3問，H26年3問，H27年11問 ）
（今回はH27年の過去問が特に多く，他はまんべんなく過去問が選ばれている）

- 基礎理論　　新傾向問題（下線付き）
  - 論理演算，近似計算，無向グラフの隣接行列，BNF，漸化式，流れ図の結果，プログラムの特性
- コンピュータシステム
  - プログラムレジスタ，パワーゲーティング，ライトスルー，圧縮プログラム展開時間，Webシステムにおけ るCDN，CPUと磁気ディスクの使用率，モニタリング，稼働率，ブロック置換アルゴリズム，コンポーネント ソフトウェア，プログラムの実行割合の測定，GNU GPL，エネルギーハーベスティング，リトルエンディア ン，割込み発生時間，回路の論理式
- 技術要素
  - 対象を連想できるコード，表現手法，オブジェクト図，正規化の条件，B+木インデックス，デッドロック，デ ータマイニング，CSMA/CD，ping，プロトコル，SDN，ブロードキャストストーム，ファイアウォール，認証 局，暗号方式，サイバーセキュリティ経営ガイドライン，水飲み場攻撃，キャッシュポイズニング攻撃， WPA2-PSK，WAF，HTTP over TLS，VPNで使用されるプロトコル
- 開発技術
  - プラットフォーム開発，汎化，分岐・条件網羅を満たすテストデータ，イテレーション，特許権者の実施許
- マネジメント系
  - アーンドバリュー分析，アローダイアグラム，定量的リスク分析，リスク転嫁，ITサービスの可用性と信頼 性，TCO，問題管理プロセス，監査報告書，監査手続，コントロール可能なリスク
- ストラテジ系
  - 情報戦略の投資効果，プログラムマネジメント，IT投資の評価指標，業務フロー，LSI製造の委託先，垂 直統合，SCM，浸透価格戦略，予測技法，セル生産方式，エスクローサービス，行動ターゲティング，ス テークホルダ，ワークシェアリング，定量発注方式，マクシミン原理，損益分岐点，Webページの著作権， ウイルス作成行為を処罰する法律，請負契約

Copyright by ITEC, Inc. 2017

応用情報技術者試験　午後問題

- 経営戦略（問2），ネットワーク（問5），情報システム開発（問8）がやや難
- 問8のアジャイル開発が出題内容として新しい。
- 問1（必須），問2～11（4問解答）　すべて20点
  - 問1　マルウェア対策（情報セキュリティ）　普通
  - 問2　経営分析とバランススコアカード（経営戦略）　やや難
  - 問3　探索アルゴリズム（プログラミング）　普通
  - 問4　仮想環境の構築（システムアーキテクチャ）　やや易
  - 問5　レイヤ3スイッチの故障対策（ネットワーク）　やや難
  - 問6　稟(りん)議申請システム（データベース）　普通
  - 問7　スマートウォッチ（組込みシステム開発）　やや易
  - 問8　アジャイル型開発（情報システム開発）　やや難
  - 問9　システムの移行レビュー（プロジェクトマネジメント）　普通
  - 問10　マネジメントプロセスとサービスデスクの運用（サービスマネジメント）　やや易
  - 問11　新会計システム導入に関する監査（システム監査）　普通

Copyright by ITEC, Inc. 2017

■高度共通　午前Ⅰ試験（SC,DB,ES,PM,AU）

iTEC 人間力を、企業力に

- 午前Ⅰの30問は従来どおり，すべて同時期のAP午前問題から選定
  - テクノロジ系17問(57%)，マネジメント系 5問(17%)，ストラテジ系 8問（26%）
  - 考察問題・文章問題が増え，計算問題・用語問題が減った
  - テクノロジ系で少し難しい問題が多い。前回よりも少し難しい

（出題内容）

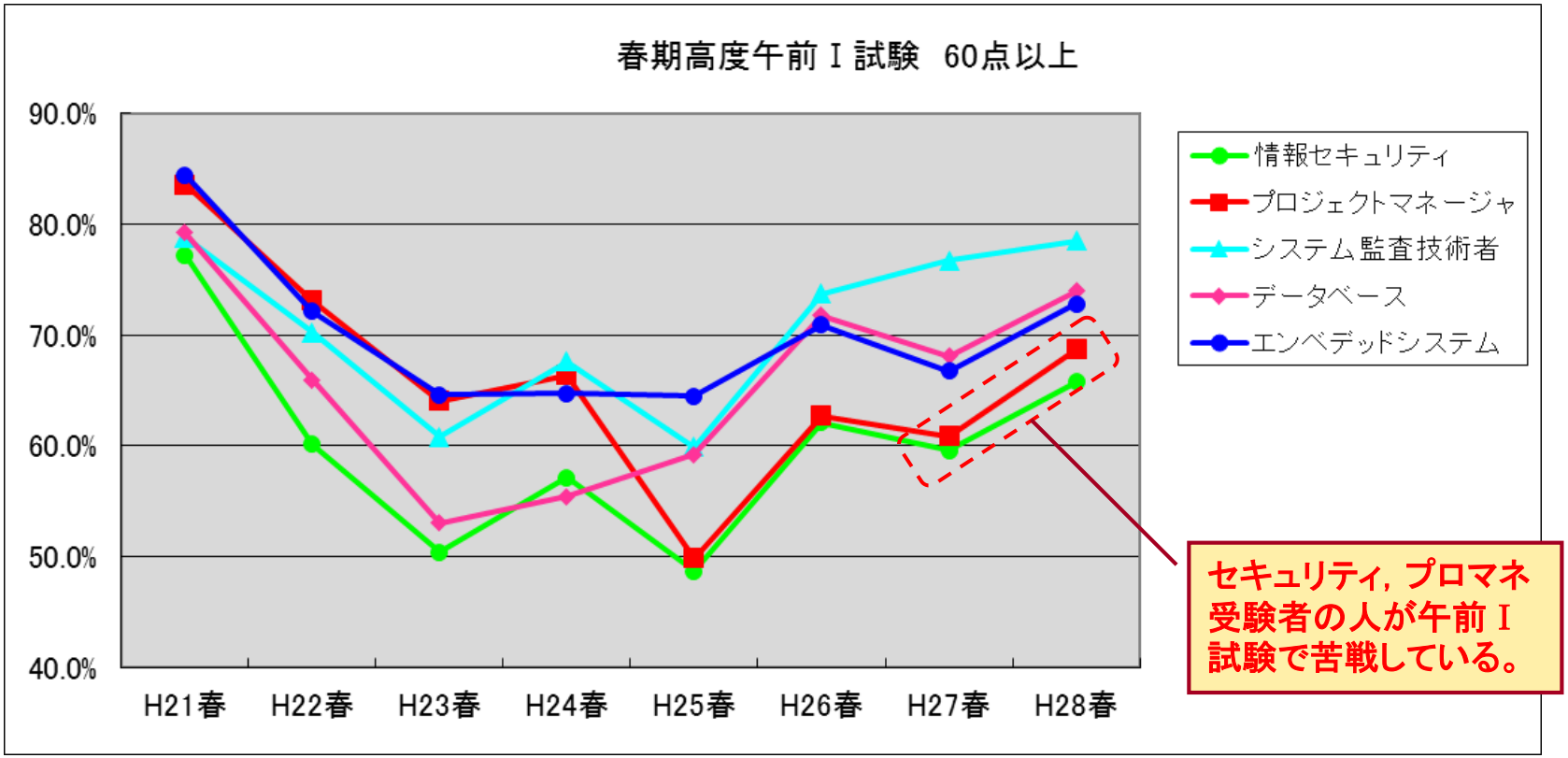
新傾向問題は4問（前回は2問）

- テクノロジ系　下線：新傾向問題
  - 近似計算，BNF，流れ図の処理結果，圧縮プログラムの展開時間，稼働率の計算，ブロック置換アルゴリズム，論理式，デッドロック，データマイニング，CSMA/CD，OpenFlowを使ったSDN，認証局の公開鍵を利用する操作，暗号方式，サイバーセキュリティ経営ガイドライン，WPA2-PSK，汎化の例，イテレーション
- マネジメント系
  - アローダイアグラム，定量的リスク分析，可用性と信頼性に関わるKPI，問題管理プロセスの活動，監査報告の改善勧告
- ストラテジ系
  - プログラムマネジメント，IT投資のKPI，業務フローの記述図，浸透価格戦略，予測技法，セル生産方式，損益分岐点の特性，Webページの著作権

- 午前Ⅰ試験の統計情報
  - 午前Ⅰ試験の受験者は約4割（免除者は約6割）で推移
  - 60点以上得点者は5～6割　（H28秋：51.0%，H28春：69.1%，H27秋：55.7%）

Copyright by ITEC, Inc. 2017

（参考）過去の春期午前Ⅰ試験　結果分析



※　平均点は，そのときの問題内容（難易度）で変わっている
　　応用情報を飛ばした高度系受験は，午前Ⅰ試験で苦労することが多い

対策：試験1か月前までに，確実に過去問題を7割正解できる実力を付ける
　　（5割未満の人は，基本情報レベルの知識から復習することが望ましい）

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(3)情報処理安全確保支援士試験(SC)

- 午前Ⅱ試験　25問解答(解答時間 40分)
  - 専門知識が20問(セキュリティ18問，ネットワーク2問)　セキュリティが1問増えた
  - 専門分野以外は前回と出題数は同じ。新傾向問題は6問，過去問の出題が6割
  - 攻撃の説明・手口の問題が6問と多い。全体の難易度は前回と同じ
- 午後Ⅰ試験(記述式)　2問解答／3問出題(解答時間 90分)
  - テーマが分散されたバランスの取れた出題だった
  - 詳細な知識が要求される問題は例年より少ない(問2にHTML出題あり)
  - 解答群の付いた設問は前回よりも減った　(前回は特別に多かった)
  - 問題分量が減った(5ページ1問，6ページ2問)
- 午後Ⅱ試験(記述式)　1問解答／2問出題(解答時間120分)
  - 午後Ⅰ同様，解答群の付いた設問は前回よりも減った
  - 問2は設問数が問1より少ない(個々の配点は高くなる)
  - セキュアプログラミングの出題はなかった

Copyright by ITEC, Inc. 2017

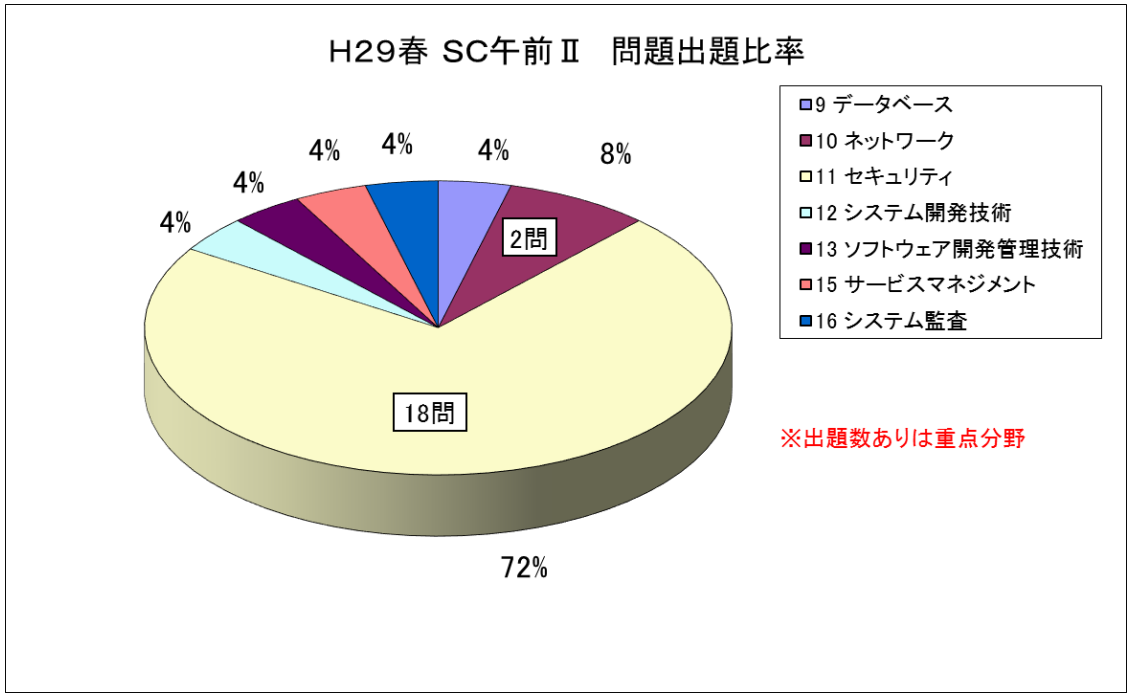
情報処理安全確保支援士試験　午前Ⅱ出題比率

- セキュリティ試験の過去問

（ H23:1問，H25：3問，H26：4問，H27：7問）

前回，H27春から8問あった

- セキュリティが＋1問，ネットワークが－1問の変化あり
- セキュリティ分野は難問少なく，前回並みの難易度
- 次回対策，H26～28春の過去問を重点的に確認する



（定番）

- AES，サイドチャネル攻撃，TPMの機能，FIPS PUB 140-2の内容，クラウドコンピューティング，リスク回避，CVE識別子，シェルスクリプトを実行させる攻撃，OAuth2.0の動作，OP25B，サンドボックス，IEEE 802.1XとRADIUSの利用，ICMP Flood攻撃，無線LANのアクセス制御方式，SQL，JIS X 25010:2013の品質特性，コンテンツの不正複製防止，データベースのバックアップ又は復旧，ITに係る保証業務の三当事者

（新傾向）

- SSL/TLSのダウングレード攻撃，セッションIDの固定化攻撃，DNS水責め攻撃，MITB攻撃に有効な対策，フォールスネガティブ，Automatic MDI/MDI-Xの機能

Copyright by ITEC, Inc. 2017

情報処理安全確保支援士試験　午後問題

iTEC 人間力を、企業力に

（午後Ⅰ）　バランスよくテーマを分散させた出題。前回より易しい

問1　社内で発生したセキュリティインシデント（システム開発会社）　やや易～普通

サーバへの侵入手口の調査，フィルタリングルール，盗聴した通信，PC侵入者による攻撃対策，詐称される機器，セキュリティ対策の実施，パケットの経路

問2　Webサイトのセキュリティ対策（情報サービス事業者）　普通

サイトの画面遷移図と仕様，脆弱性確認手順，不正動作のHTML，不正ログイン，ログイン記録，脆弱性報告，クロスサイトスクリプティング，タグに指定する属性，Cookie情報

問3　クラウドサービスの認証連携（ソフトウェア開発会社）　普通

クラウドサービスへの不正アクセス，暫定対策の実施，根本的な対策，SAMLを用いた認証連携，接続元制限の動作検証，SAML処理方式のシーケンス，ログイン失敗する通信

（午後Ⅱ）　問2の解答分量少なく，個々の設問配点高い。取りこぼし注意

問1　マルウェアの解析（ECサイト運営会社）　普通（14ページ）

インシデントの初動対応・二次対応，マルウェアのHTTP通信の解析，詳細解析環境，デバッガによる解析，パッカー，応急措置の決定と実施，感染経路の特定と対処，対応の事後評価

問2　社内システムの情報セキュリティ対策（金属加工会社）問1より少し易（12ページ）

DMZのサーバ機能概要，内部LAN／業務LANのサーバ機能，マルウェア感染と調査，感染への対処，ウイルス対策の強化，データ交換サーバの機能，メールサーバの転送機能

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(5)データベーススペシャリスト試験(DB)

- 午前Ⅱ試験　25問解答(解答時間 40分)
  - 専門のDB分野から19問出題(前回と同じ)。
    - データベース試験の過去問が12問あった
    - データベース分野の新傾向問題は2問(前回3問)
  - 前回より，SQL関連，トランザクション処理関連でやや難問題が多い
- 午後Ⅰ試験　記述式:2問解答／3問出題(解答時間 90分)
  - テーマとしてはDB設計，排他制御，SQL関連で，定番といえる内容だった
  - 問題と解答のボリュームは前回とほぼ同じ
  - 問1 データベースの設計　でヒント少ない設問あり，やや難だった
- 午後Ⅱ試験　記述式:1問解答／2問出題(解答時間120分)
  - 問1がデータベース設計・実装，問2が概念データモデル作成の問題(従来の傾向どおり)
  - 問1が14ページ，問2が13ページで，問2の問題ボリュームは前回より増えた。
  - 問1で出題されたレプリケーションの設問がやや難

Copyright by ITEC, Inc. 2017

データベーススペシャリスト試験　午前Ⅱ出題比率

- データベース試験の過去問

  （H22以前：3問，H23：1問，H24：2問，H26：2問，H27：4問）
- 次回対策では，H26以降の過去問を重点的に確認する
- 正規化とSQLの問題

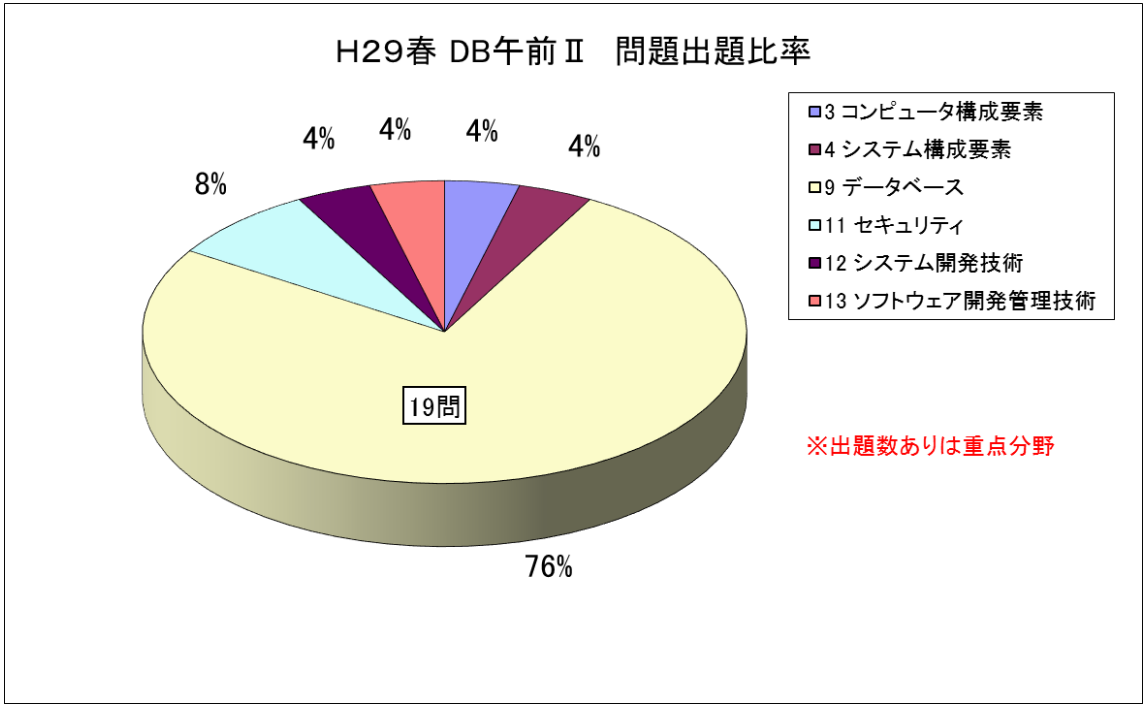
  H25春：正規化0問，SQL6問

  H26春：正規化2問，SQL3問

  H27春：正規化1問，SQL4問

  H28春：正規化1問，SQL2問

  H29春：正規化1問，SQL5問



（定番）

- 3層スキーマアーキテクチャ，残高導出のSQL文，データモデル表記，候補キー，E-Rモデルの実体，DBMSが取得するログ，第2正規形で第3正規形でない表，SQL文の実行結果，SQLに入る制約，和両立，射影の個数，2相コミット，2相ロック方式，ACID特性，トランザクション処理の事象，RDBMSのロック，入れ子ループ法の計算量，CSIRT，SSH，メモリアクセスの信頼性，フェールオーバ処理，JIS X 25010:2013の品質特性，ソフトウェアのリファクタリング

（新傾向）

- 人数を求めるSQL文，論理式の評価結果

Copyright by ITEC, Inc. 2017

データベーススペシャリスト試験　午後問題

iTEC 人間力を、企業力に

（午後Ⅰ） どの問題も定番の内容

- 問1　データベースの設計（ソフトウェア開発会社）　やや難
  - 候補キー，部分・推移的関数従属性の有無と具体例，正規形名と第3正規形への分解，関係スキーマ，属性名，リレーションシップ，関係名と追加する属性名，不具合の状況・修正
- 問2　トランザクションの排他制御（オフィスじゅう器メーカ）　普通
  - SQL文の空欄穴埋め，REPEATABLE READ時のデッドロック（初出題），数量が不正になるAPの実行状況，不正な状態，並列実行，ボトルネック
- 問3　テーブル及びSQLの設計（家電販売チェーン店）　普通
  - 分析処理の応答時間評価，動的SQLの穴埋め，動的SQLで実行する理由，NOT NULL制約定義の理由，一意性制約に定義すべき列名，検査制約，INSERT文の穴埋め

（午後Ⅱ） 問1のレプリケーションの設問がやや難，問2の問題分量多い

- 問1　データベースの設計，実装（全国展開する家電・日用雑貨の小売業）　やや難
  - テーブルの配置，同期，ロールバックされる処理，レプリケーション機能，テーブルに追加する列名・内容，検査制約，SQL穴埋め，トリガの定義内容，テーブル穴埋め，問合せ内容
- 問2　販売物流業務の概念（自動車用ケミカル製品メーカ）　普通
  - リレーションシップ，概念データモデルの完成，関係スキーマの属性名，外部キー，エンティティタイプと属性の対応表完成，統合前・後のエンティティタイプの対応表の完成

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(6)エンベデッドシステムスペシャリスト試験(ES)

- 午前Ⅱ試験　25問解答(解答時間 40分)
  - ハードウェア関連の出題は4回連続で5問(その前6問，前々9問)
  - 組込み特有のハード，ソフト，システム開発技術問題は8問(前回9問)
  - 出題傾向，難易度は例年と大きく変わっていない

- 午後Ⅰ試験　記述式：2問解答／3問出題(解答時間 90分)
  - 問1は必須問題(40点)，問2と問3から1問選択(60点)
  - 問題事例は身近なものが多い

    (問1：案内用ロボット，問2：カメラ付き防犯灯，問3：病院内資料配送システム)
  - 計算と字句記入の設問が増え，記述式の設問は前回よりも減った

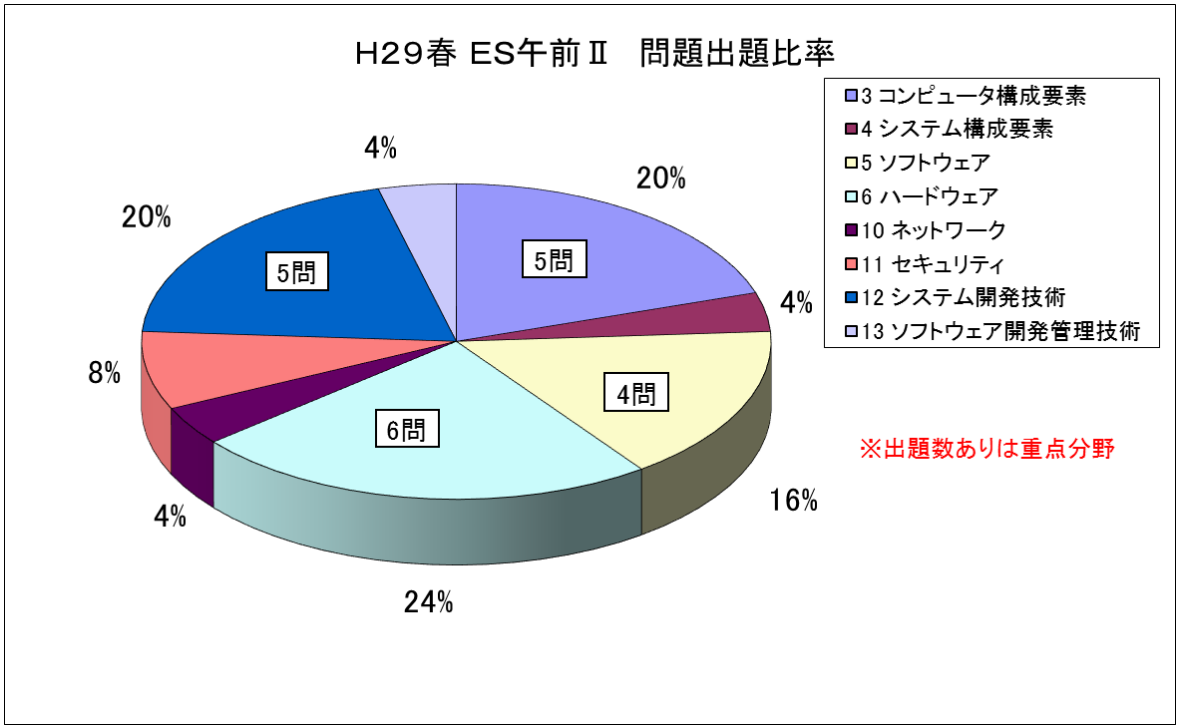
- 午後Ⅱ試験　記述式：1問解答／2問出題(解答時間120分)
  - 前回よりも問題分量が多い(各問12ページ)，問1は計算問題かなり多い
  - 問2の駐輪場管理システムは記述式設問の文字量が490文字で過去最大

Copyright by ITEC, Inc. 2017

エンベデッドシステムスペシャリスト試験　午前Ⅱ出題比率

- エンベデッド試験の過去問

  （H20以前：2問，H22：1問，H24～H26：各1問，H27：5問）
- アナログ要素を含む出題は2問（問4，12）
- 次回対策，H26～28春の過去問を重点的に確認する



（定番）

- スーパスカラ，内部割込み，ZigBee，性能評価，JavaEEの要素，ハッシュ探索時間，PLLの出力周波数，D/Aコンバータの出力電圧，インクリメンタル型ロータリエンコーダの分解能，対タンパ性能の向上，クロック周波数の計算，エネルギーハーベスティングの熱電変換素子，データ転送，共通鍵の総数，TLS，誤入力発生を想定した設計，リポジトリの構築理由，JIS X 25010による性能効率性，マッシュアップを利用したWebコンテンツ表示例

（新傾向）

- MLC型のフラッシュメモリ，PWM信号を用いた音声出力，情報収集ツール，SELinux，アーキテクチャパターン，ISO 26262におけるC1カバレージ

Copyright by ITEC, Inc. 2017

エンベデッドシステムスペシャリスト試験　午後問題

（午後Ⅰ）　事例は分かりやすい。計算問題が多く，注意深く解答する必要がある。

- 問1　観光案内用ロボット（ハード／ソフト）　必須　普通
  - 制御部の構成要素，サーボモータ，サーボコントローラの動作，デューティ比の計算，体の回転範囲，モータ停止位置，制御部のタスク処理，バッファ書込み完了時間
- 問2　カメラ付き防犯灯（ソフト主体）　やや易～普通
  - 制御部のタスク処理，ソフトウェア構造，防犯灯の仕様，照明の制御，フラッシュメモリの必要容量，時刻設定，仕様の追加，スイッチの追加，電波時計による時刻補正
- 問3　病院内資料配送（ハード主体）　普通～やや難
  - サーバの動作，赤外線LEDとセンサの関係，配送路への分岐動作，データ転送量，分岐部の状態制御，配送車の制御，モータ駆動電流制御，仕様の変更，分岐制御，配送車動作

（午後Ⅱ）　問1は計算問題多く，問2は記述式設問が過去最大の量

- 問1　スマートグリッド（発電ステーションシステム）（ハード主体）　普通
  - 水電解装置の運転，充電仕様，電力量／蓄電池の残量／演算実行時間／処理完了時間の計算，電力コントローラ制御，発電ステーションの仕様，売電方法，誤り判断，安全確保
- 問2　複数の駐輪場を管理するシステム（ソフト主体）　やや難
  - 処理開始動作，表示灯制御，動作シーケンス，清算機・ラックの構成要素，表示灯の仕様，ラック数の管理，通信制御に必要な情報，制御部のソフトウェア構造，タスクの状態遷移，機能拡張，タスク変更内容，不具合発生時の操作，エラー通知する場合の受信シーケンス

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(7)プロジェクトマネージャ試験(PM)

- 午前Ⅱ試験　25問解答(解答時間 40分)
  - PM専門分野から16問の出題
  - PMBOK(前々回から第5版)と明記の問題は3問に減少(前回5問)
    - 次回試験は今秋発表予定の第6版内容も入るか？
- 午後Ⅰ試験　記述式:2問解答／3問出題(解答時間 90分)
  - 大きなテーマとしては,(プロジェクト計画, リスク対応, 要件定義),(調達, 開発条件, 進捗管理),(品質管理, テスト設計, バグ管理)
  - 時流に合わせたシステムや, 絞り込んだ工程範囲の事例問題になっている
  - 問1の製造実行システム(MES)の導入事例は新しい内容
  - 問2, 問3における工程表記は,「外部設計, 内部設計, 製造, テスト」
- 午後Ⅱ試験　論述式:1問解答／2問出題(解答時間120分)
  - 大きなテーマとしては, ステークホルダマネジメント, 品質マネジメント
  - 前回の「成果物の再利用」,「リスクコントロール」と比べて一般的な内容

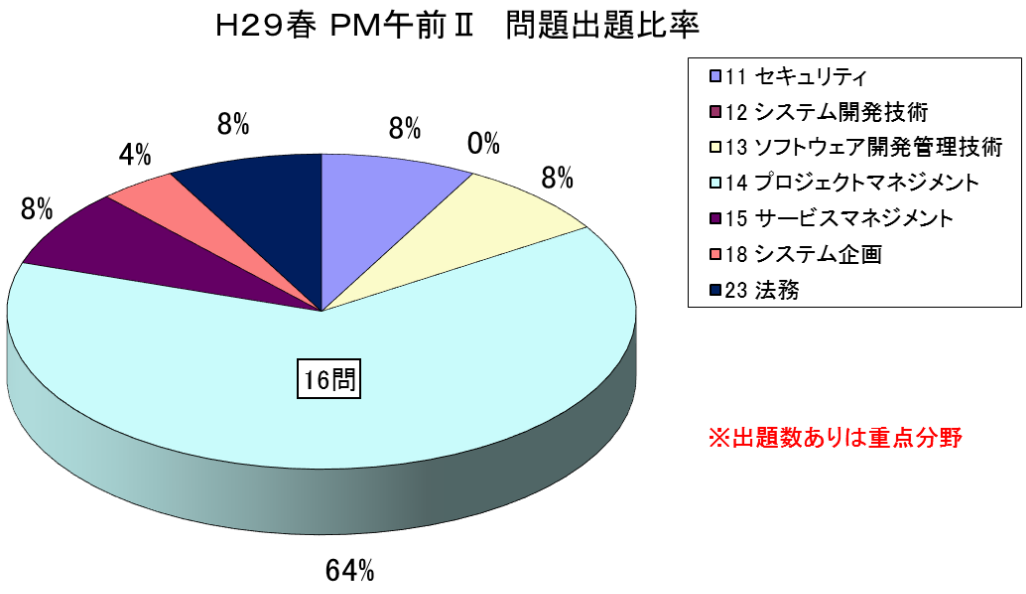
Copyright by ITEC, Inc. 2017

プロジェクトマネージャ試験　午前Ⅱ出題比率

- プロジェクトマネージャ試験過去問（H25：1問，H26：2問，H27：8問）

  前回はH26から6問あった

- PMBOKの基本用語，アジャイル型プロジェクト管理の知識を確認
- 次回対策，H26～28春の過去問を重点的に確認する



（定番）

- クリティカルチェーン法，組織のプロセス資産，プロジェクトの変更要求，ローリングウェーブ計画法，ワークパッケージ，設計アクティビティの要員，ガントチャート，クラッシング，EVMでの対処，IFPUG法，生産性を表す式，調達条件を満たすレンタル費用，全数検査で低減できる費用，マッシュアップ，ソフトウェアのリファクタリング，データベースのバックアップ・復旧，DAの役割，準委任型契約，36協定，派遣労働者の受入れ，CSIRT，ペネトレーションテスト

（新傾向）

- タックマンモデル，PDMによる最少所要日数，アジャイル型開発プロジェクト管理のベロシティ

Copyright by ITEC, Inc. 2017

プロジェクトマネージャ試験　午後問題

iTEC 人間力を、企業力に

（午後Ⅰ） 絞り込まれた状況設定あるが，全体に解答しやすい内容

- 問1　製造実行システム導入プロジェクトの計画作成（製造業向けSI企業）　普通
  - 製造実行システムの機能，プロジェクト計画，概略スケジュール，リスク対応計画，要件定義，重要課題，要員管理，リスク源，リリース先送り理由
- 問2　サプライヤへのシステム開発委託（システム）　普通
  - サプライヤ選定，契約の交渉，開発条件の調整，内部設計の状況，サプライヤのメリット，新案件の制約条件，必要作業，請負契約の活動，契約の発注側注意事項，レビュー報告
- 問3　単体テストの見直し及び成果物の品質向上（システム）　普通
  - 設計方法，製造・テスト方式，単体テスト実施方針，テストの実施状況，結合テストケース作成時期，テスト技法，テスト完了後の評価，バグ密度，遅延リスク，追加レビュー

（午後Ⅱ） 2問とも多くのPMが経験する身近なテーマ

- 問1　システム開発プロジェクトにおける信頼関係の維持・構築について
  - プロジェクトの特徴，ステークホルダ，信頼関係構築の理由，構築の取組み・維持，工夫点，信頼関係が解決に貢献した問題，果たした役割，今後の改善点
- 問2　システム開発プロジェクトにおける品質管理について
  - プロジェクトの特徴，品質面の要求事項，品質管理計画策定，品質管理計画，品質管理の実施，考慮点と関係が深い工程，管理計画の内容評価，実施結果の評価，今後の改善点

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(8)システム監査技術者試験(AU)

- 午前Ⅱ試験　25問解答(解答時間 40分)
  - 専門分野のシステム監査の出題数は前回と同じ10問(前々回は12問)
  - システム監査技術者試験の過去問は11問(前回9問)
  - 技術系問題は5問(DB 1問, NW 1問, セキュリティ3問)

- 午後Ⅰ試験　記述式:2問解答／3問出題(解答時間 90分)
  - 大きなテーマとしては, 在庫管理, 品質管理, ネットワークセキュリティで解答しやすい内容
  - 前回同様, 技術知識が必要な問題はなかった(前々回2問が技術知識必要)
  - 一部, いろいろな観点からの解答が考えられ, 迷う設問あった

- 午後Ⅱ試験　論述式:1問解答／2問出題(解答時間120分)
  - テーマは内部不正対策, 運用段階のセキュリティで, 2問ともセキュリティ関連
  - 問1の設問イ, ウは, 別々の対策について実施状況確認の監査手続を記述する。前回から現れた出題パターン
  - 問2はセキュリティレベルについて明確に記述できるように, 日頃から意識する

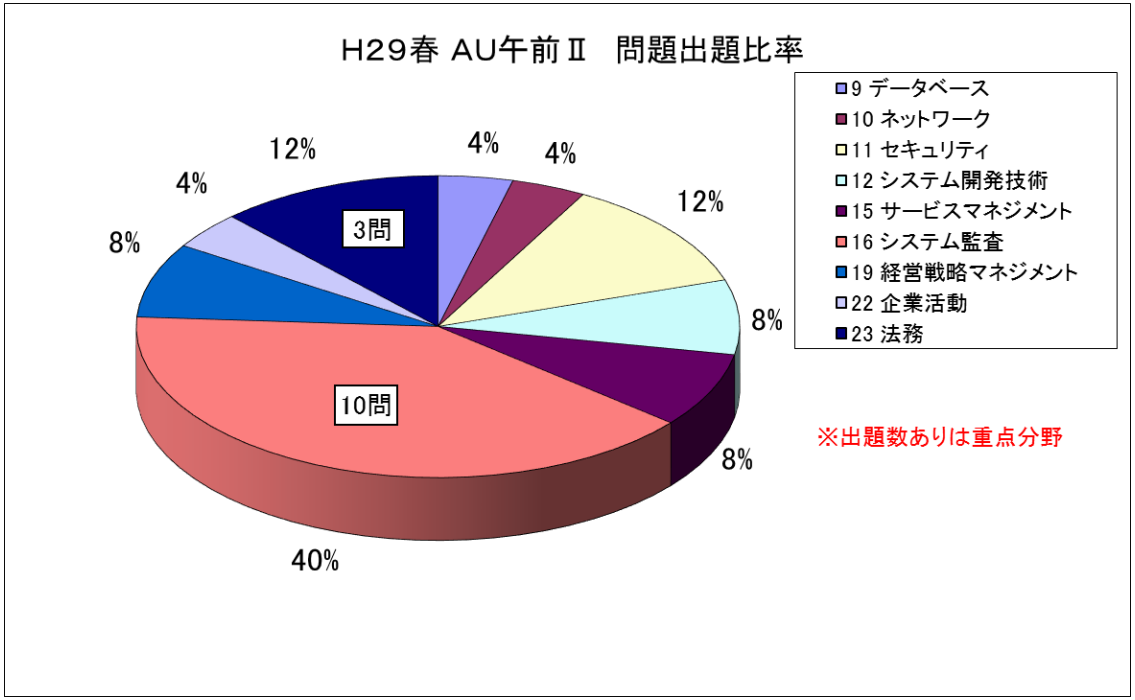
Copyright by ITEC, Inc. 2017

システム監査技術者試験　午前Ⅱ出題比率

- システム監査試験の過去問

（～H23：0問，H24：2問，H25：4問，H26：1問，H27：4問）

- セキュリティの技術知識はAPレベルの理解が必要。
- 次回対策，H26～28春の過去問を重点的に確認する



（定番）

- サンプリング（試査），監査証拠，システム監査基準の利用目的，ITF法，システム監査報告書，テストデータ法，監査証跡，保証型監査の意見表明，IT全般統制，“全社的な内部統制”としての“ITへの対応”，データ管理者の役割，著作権法，下請代金支払遅延等防止法，商品広告の表示義務，リーダシップの型，SQL文，サブネットワークのアドレス，CSIRT，ブルートフォース攻撃，ペネトレーションテスト，品質特性，CRUDマトリックス，マーケットバスケット分析，ファイブフォース分析

（新傾向）

- JIS Q 20000-2:2013によるSLAの作成指針

Copyright by ITEC, Inc. 2017

システム監査技術者試験　午後問題

（午後Ⅰ）　テーマは馴染みのあるものが多いが，解答内容に迷う設問もあり

- 問1　在庫管理システム統合計画の監査（機械部品販売会社）　普通
  - システム統合計画，予備調査のインタビュー，リスク及びコントロール，在庫データの統合不備，職務分離のコントロール，長期滞留品の抽出漏れ確認の監査手続き，プロジェクトチームへの確認事項
- 問2　システム開発における品質管理の適切性監査（金融システムの開発運用会社）　普通
  - 品質管理の状況，品質管理基準，詳細設計工程の完了判定とその確認，レビュー指摘件数の確認，完了判断の確認内容，監査手続きの改善点と理由，品質管理部へのヒアリング確認内容
- 問3　制御ネットワーク及び制御システムの監査（石油精製会社）　普通
  - ネットワークの統合，システム連携，予備調査，本調査の発見事項，管理規程の確認，想定したセキュリティインシデント，査閲すべき文書，補完的コントロール，不正アクセス対策確認の監査手続

（午後Ⅱ）　2問ともセキュリティ関連のテーマ

- 問1　情報システムに関する内部不正対策の監査について
  - 内部不正発生で重大な影響を及ぼすシステムの概要，内部不正が発生した場合の影響，内部不正の技術的対策の実施状況を確認する監査手続（内部不正の特徴を踏まえた留意点），組織的対策の実施状況を確認する監査手続（内部不正の特徴を踏まえた留意点）
- 問2　情報システムの運用段階における情報セキュリティに関する監査について
  - システムの概要，ビジネス上の役割，システムのセキュリティレベル，運用段階でセキュリティレベルが維持できなくなる要因とコントロール，コントロールが有効に機能しているか確認する監査手続

Copyright by ITEC, Inc. 2017

(9)情報セキュリティマネジメント試験(SG)

- 新試験　第3回目の実施
  - 応募者は21,162人で若干減　(前回22,186人←前々回21,691人)
  - 1，2回目と比べ内容は難しくなっている　(合格率66.4%←前回70.3%←前々回88.0%)
  - IT利活用者向けのセキュリティ試験として適切な難易度(それなりに難しい)

- 午前試験:4択50問出題(解答時間90分)
  - 重点分野:テクノロジ(セキュリティ)30問，ストラテジ(法務)5問(従来から1問減)
  - 過去問題が5割弱あり，前回より減った(FE:7問，AP:10問，SC:2問含む)
  - JIS Q 27000から2問，JIS Q 27001から2問，JIS Q 27002から0問
  - JIS Q 31000から2問，サイバーセキュリティ経営ガイドラインから1問
  - 内部不正防止ガイドラインについては1問(内容ではなく名称を聞く問)
  - 技術寄りセキュリティ問題が減り(攻撃関連今回2問←前回5問←前々回6問)，暗号化と認証関連の問題が増えた(今回6問←前回3問←前々回5問)

- 午後試験:大問形式:3問解答／3問出題(解答時間90分)
  - 問題分量が多く，選択肢数も多いため，全体として解答しづらい
    - 問1，2が10ページ，問3は12ページあり，解答時間の不足に注意が必要(前回と同じ)
  - 問題事例は，実務で起こり得る身近な内容だが，技術用語などの理解が必要

Copyright by ITEC, Inc. 2017

情報セキュリティマネジメント試験　午前問題

- FE過去問7問（H25年1問，H26年3問，H27年3問）　前回は10問あった
- AP過去問10問（～H24年2問，H25年2問，H26年3問，H27年3問）　前回は11問あった
- 今回のFE午前試験問題と7問の重複があった（前回8問←前々回5問）

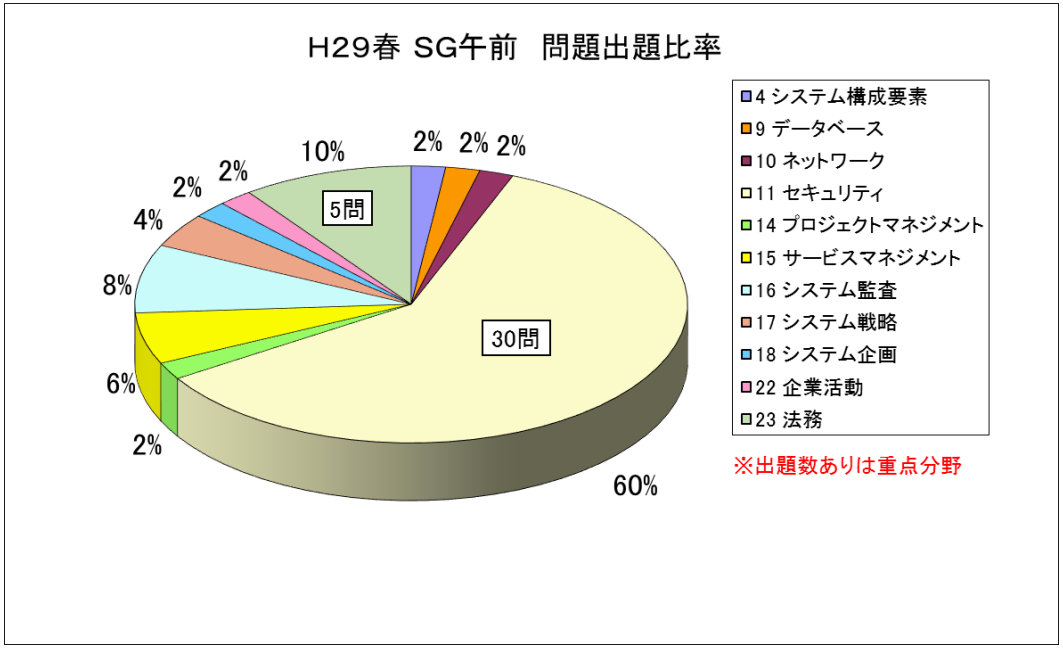
- 重点分野：セキュリティ　　新傾向問題（実線下線），FE問題との重複（点線），囲みは両方
  - ISMSのリーダーシップとコミットメント，サイバーセキュリティ経営ガイドラインの対策，内部不正防止ガイドライン，RPO，リスクマネジメント，リスクマネジメント活動の実行順序，リスクレベル，情報セキュリティインシデント，暗号の危殆化，タイムスタンプサービス，情報セキュリティ方針，JVN提供情報，NIDS導入目的，漏えいの早期発見，ディジタルフォレンジックス，パスワード不正取得する攻撃，サーバ設置方法，2要素認証，ディジタル署名，ハッシュ関数，ソーシャルエンジニアリング，鍵の組み，ディレクトリトラバーサル攻撃，真正性及び信頼性，失効したディジタル証明書，PCIDSS，不正のトライアングル，IPsec，WAFにおけるリスト，ポートスキャナの利用目的
- 重点分野：法務
  - 電子署名法，売買契約が成立時点，不正競争防止法，著作権法，労働基準法
- マネジメント系
  - 特権ID不正使用の発見，システムテストの監査，被監査部門との意見交換目的，監査報告書で報告すべき指摘事項，システムの運用テストの優先確認事項，運用レベル合意書，問題管理プロセスの目的，アローダイアグラム
- テクノロジ系
  - ホットスタンバイ方式，データマイニング，WebサーバにHTTPでアクセスしたときのエラー
- ストラテジ系
  - 情報戦略の立案，業務プロセス再設計時の留意点，非機能要件，BCP

Copyright by ITEC, Inc. 2017

情報セキュリティマネジメント試験　午後問題

- （参考）午前問題出題比率

重点分野：
　テクノロジ（セキュリティ）30問
　ストラテジ（法務）5問
その他分野：
　マネジメント　8問（前回8問）
　テクノロジ　　3問（前回3問）
　ストラテジ　　4問（前回3問）



- 午後　問1～3（全問必須）　各34点満点

問1　マルウェア感染への対応（解答マーク数9）　普通～やや難
　ランサムウェア，マルウェアの特徴，想定被害と費用，報告内容，ルール不備，可用性対策

問2　クラウドサービスを利用した情報システムの導入と運用（解答マーク数8）　普通
　システムのメリット，セキュリティ対策，システム利用に関する検討，アカウント及び操作権限の管理

問3　オフィスの物理的セキュリティ（解答マーク数13）　普通
　レイアウト問題点の改善案，ログ抽出条件，リスク対応，施錠方式，コールセンタのセキュリティ対策

Copyright by ITEC, Inc. 2017

4. 平成29年秋期試験の対策

（1） 午前試験の対策

- ポイントを絞って学習する （詳しい解説のアイテック本利用を）
  - FE，AP・高度午前Ⅰは各「午前試験対策書」
  - 高度系は「専門知識＋午後問題」の重点対策で午前Ⅱ出題ポイントを把握
- 短い時間を利用して，こまめに問題を解き復習する
  - 最低でも3回分の試験問題をすべて解く
  - 繰り返し学習して知識を定着させる（“文章”，“用語”問題が適）
    - 通信教育コースの演習問題や宿題メールを活用して毎日問題を解く
  - “計算”，“考察”問題の「分かった！」を増やし，達成感で学習継続
  - 高度系午前Ⅱ専門知識は，まず応用情報のレベル3知識の復習から始める

- 本格的に学習するなら試験別テキスト，専門書（電子書籍）で
  - アイテック刊行のFE，AP，高度専門知識のテキストや専門書で学習する
  - 午前問題演習だけでは断片的な知識。体系的な学習で知識をつなげる

Copyright by ITEC, Inc. 2017

（2） 午後試験の対策

- 午後試験問題の出題内容を理解する
  - 解答に必要な条件や状況などは問題中に記述あり →線引き，丸付けなど
- 午後問題（記述式）は一つの事例で，多種類の設問を用意
  - 解答検討の前に問題内容が分かるか？　→関連知識増やす
  - 過去問を問題としてではなく，事例として学習素材にする
- 試験センター発表の記述式解答はシンプル。原理・原則が多い
  - 問題演習の後で，自分の解答と並べて解答例を書き写す
  - 解答と関連する問題文の記述，条件などを確認することを繰り返す
- 午後Ⅱ　論述式試験の特徴と対策
  - 問題文に記述内容の例がある。設問の内容に沿って記述する必要あり
  - 質問用紙は採点対象と考え，正確に書く（自経験を事前に棚卸ししておく）
  - 採点結果はAとB評価で約8割！AとBの差は試験の「対象者像，業務と役割，期待する技術水準」を満たしていることが読み取れるかどうか。

対策講座（セミナー）の活用　→　オンサイト研修実施，合格ゼミ参加

- 専門講師が，出題ポイント，知識（専門知識）の理解，午後問題の解法力アップを効果的に修得できるように指導します

Copyright by ITEC, Inc. 2017

（3） H29年秋期試験の対策ポイント

- 基本情報技術者試験（FE）　秋期高度系の詳細学習ポイントはH28秋の試験分析講評参照してください
  - 午前：FEのH25～27問題，やや難含め重点確認。午後：FE午後重点でアルゴリズム強化
- 応用情報技術者試験（AP）
  - 午前：FEのH26～28問題重点確認。午後：AP午後重点で解法力アップする！
- 情報処理安全確保支援士試験（SC）
  - 午前Ⅱ：SCのH26～28春問題重点確認。午後解答に必要な専門知識（特に技術系）を十分に学習。IPA公表の「安全なウェブサイトの作り方」は試験対策としても参考になる。
- ネットワークスペシャリスト試験（NW）
  - 午前Ⅱ：NWのH25～27問題重点確認。午後演習を通じて各テーマの詳細事項を学習する
- ITストラテジスト試験（ST）　ST，SA，SMの午後Ⅱ論文：事前に記述し・第三者が添削
  - 午前Ⅱ：STのH25～27問題重点確認。経営戦略ー情報戦略の視点で物事を考える
- システムアーキテクト試験（SA）
  - 午前Ⅱ：SAのH23～27問題を幅広く確認。システム企画の視点で考え，要求を実現する
- ITサービスマネージャ試験（SM）
  - 午前Ⅱ：SMのH25～27問題重点確認。ITIL，JIS Q 20000の内容を理解する
- 情報セキュリティマネジメント試験（SG）
  - JIS Q 27000のセキュリティ用語，JIS Q 31000を確認。問題演習で長文読解力を付ける。

JIS検索：日本工業標準調査会（http://www.jisc.go.jp/app/jis/general/GnrJISSearch.html）

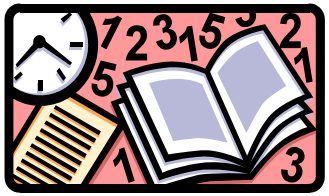
Copyright by ITEC, Inc. 2017

（4） 今秋向け試験対策コースと合格ゼミ

iTEC 人間力を、企業力に

- 試験対策コース
  - 学習状況・レベルに合わせてコースをお選び頂けます。
  - FE午前試験免除コース
  - プレミアムコース（FE，AP）
    - 書籍・eラーニング・模試のセット。初めて情報処理について学習したい方
  - スタンダードコース（全種別）
    - 書籍・eラーニング・模試をセットにした、基礎から応用まで学習したい方
  - プラクティスコース（SG除く全種別）
    - eラーニングによる問題演習に特化したコース
- 合格ゼミ
  - 人気のプロ講師が合格ポイントを伝授！
  - 午後対策セミナー（3日） FE，AP，SC，NW，ST，SA，SM（論文添削付）
  - 直前対策セミナー（1日） SC，NW，SA

- （資料） 情報処理技術者試験 試験要綱最新版 Ver 3.0 （2016年10月21日更新）
  https://www.jitec.ipa.go.jp/1_13download/youkou_ver3_0.pdf
- 平成29年度春期試験 合格発表 基本情報，セキュリティマネジメント 5月17日（水）
  - 応用情報，（高度）情報セキュリティ，データベース，エンベデッド，プロジェクトマネージャ，システム監査技術者 **6月21日（水） 正午予定**
- 平成29年度秋期試験 10月15日(日） 予定
- ご清聴，ありがとうございました。



Copyright by ITEC, Inc. 2017